

第1学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 ひきざん(1)(全体時間11時間)

コンテンツ名 「のこりはいくつ」(S02.mpeg)

第1学年 実施時期 1学期6月

単元目標

- 【関心・意欲・態度】 ・求残、求部分、求差をひき算の式に表すよさを知り、進んで式に表し、差を求めようとする。
- 【数学的な考え方】 ・求残、求部分、求差の場面を同じひき算と考えることができる。
- 【表現・処理】 ・求残、求部分、求差の場面を数図ブロックで操作し、ひき算の式に表して答えを求めることができる。
- 【知識・理解】 ・ひき算が用いられる場面や、ひき算の記号や式の読み方、かき方、計算の仕方を理解する。

本時の目標と展開(全11時間 本時はその9時間目)

内容	目標
のこりはいくつ(3)	・数図ブロックを操作し、求残の場面を理解することができる。 ・ひき算の式を知り、ひき算の式に書いて答えを求めることができる。 ・数図ブロックを操作し、求部分の場面を理解することができる。
計算練習(2)	・ひき算のカードを使ってひき算の計算が確実にできる。
ちがいはいくつ(3)	・数図ブロックを操作し、求差の場面を理解することができる。 ・ひき算の式に書いて答えを求めることができる。
問題作り(1)	・ひき算の適用する場を広げ、ひき算についての理解を深める。(本時)
おさらい(2)	

学 習 活 動

(1) デジタルコンテンツを見て、問題を作る。

T「画面を見て、お話づくりをしましょう。」(音なし 4秒)

S「木にりんごがなっている。」

S「りんごが5個ある。」

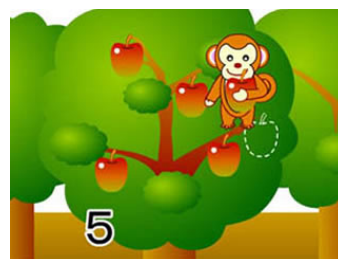
T「続きを見て、お話を考えましょう。」(音なし 18秒)

S「サルが来た。」

S「サルがりんごを3個とっていった。」

T「問題を作るには、どのような言葉が必要ですか。」

S「残りは何個でしょう。」



T「今度は(ちがいはいくつの絵を見せて)この絵を見てお話を作りましょう。」

S「りんごが5個ある。」

S「みかんが3個ある。」

S「りんごのほうが2個多い。」

T「お話の続きはどうすればいいかな。」

S「ちがいはいくつでしょう。」

- デジタルコンテンツを順に止めながら見ることで、順序立てて場面を把握させるようにする。
- 画面を見て、問いかけの文章の違い(求残と求差)に気付かせる。

(2. 絵を見て「 $5-3$ 」の式になるひき算の文章問題を作る。

T「今度は絵を見ましょう。絵を見てどんなことがわかりますか。」

T「数の数え方はどのようにいいですか。」

- 数え方の単位に着目させる。
- 絵を見て、絵の動きにも着目させる。

S「はとが全部で5わいます。そのうち3わのはとが飛んでいきました。」

T「続きはどうすればいいですか。」

S「はとは何羽になったでしょう。」

T「はと以外に、絵を見て『 $5-3$ 』になるひき算の問題をつくりましょう。」

T「自分の作った問題の式が「 $5-3$ 」になっているのか確かめましょう。」

- 『のこりは』と『ちがいは』の言葉が的確に使い分けられるようにする。
- 途中で行き詰まった場合は、「デジタルコンテンツを見ながら作った問題文」と「絵を見て自分で作った問題文」とを比較させる。

(3) 作った問題を発表し、みんなで考える。

T「問題を聞いて「 $5-3$ 」になるのか考えましょう。」

S「黄色いヨットが5そう、赤いヨットが3そうあるよ。黄色いヨットのほうがいくつおおいかな。」

T「ひき算の問いかけはあっていますか。」

S「あってます。」

- 文章と式を対応させて確かめさせる。
- $5-3$ の式に表すことができるか考えさせる。

(4) 本時のまとめをする。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

のこりはいくつ http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#02